

いい顔、ありがとう

小学校親善スポーツ大会(6月15日)

●この広報紙にあなたが
写っていましたら、総務課
企画係(☎⑧四一一内線
二二五)へご連絡ください。
写真をさしあげます。



祭りばやしが聞こえる

亡」と知り合い、弟子入りをしたのがきっかけとか。手先が器用で、研究熱心の竹内さんの腕はメキメキ上がり、横笛作りで師匠をしのぐほど腕前には、おかげ!で「己作」の烙印(れきいん)を求めて依頼が舞い込んでいる

●この広報紙にあなたが
写っていましたら、総務課
企画係(☎⑧四一一内線
二二五)へご連絡ください。
写真をさしあげます。



竹内さんは笛作りでも名人であるが吹く方も名人級…

祭りばやしの横笛を作つて二十五年。和納十二区に居を構え竹内巳作さん(67歳)は知るぞ知る、笛作りの名人。もちろん手作りの笛である。県内でまだ一人の製作者といわれ、いままでテレビや新聞などで紹介されているので、ご存知の人も多いかと思います。

そもそも竹内さんが笛作りを始めたのは、子供のころから笛

とと、竹内さんの師である弥彦村の山際友三郎さん(四十八年に八十七歳で死

といいます。

竹内さんの笛作りは、まず材料の篠竹探しから始まります。

内さんが、「なかなか納得のいくものが出来ないね」と手作

内さんは、「若い竹はシワが寄る

ので、三年以上の成竹が最適。

太きは二・五センチくらいのもので、

内さんは、「五十分から六十センチの長いものが必要。まあ、

一本の竹から二、三本の材料が取ればいい方です」と竹探し

間に八十~九十本の笛を作る竹

内さんが、「なかなか納得の

いくものが出来ないね」と手作

りのむずかしさを話す一方、五

感を使って理論どおりになる手

作りの楽しさもまた語る。

ところで、竹内さんは技では

名人であるが職人ではない。笛

作りは全くの趣味だと言う。だ

かりに手元にある笛は十数本。

「ほと

んど人にくれてしまつたね」と

のところは、わたしが死ぬまで

の分は軽くあるね」と笑いながら

言う。これまで作った笛は約

八百本。「気が向かないとき

ないんだが、いつん作り始め

るとこれが大変、ついに時間

を忘れて熱中してしまふんだ

といかにも名人らしい。

こんな竹内さんの名人技を見

に訪れる人も多い。「よく新潟

大学の先生が学生を連れて来ま

すよ。珍しいせいもあるのか

も知れませんが、とにかく熱心

ですね。この夏は長野の大学の

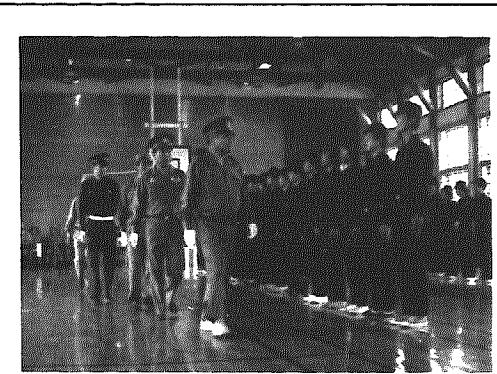
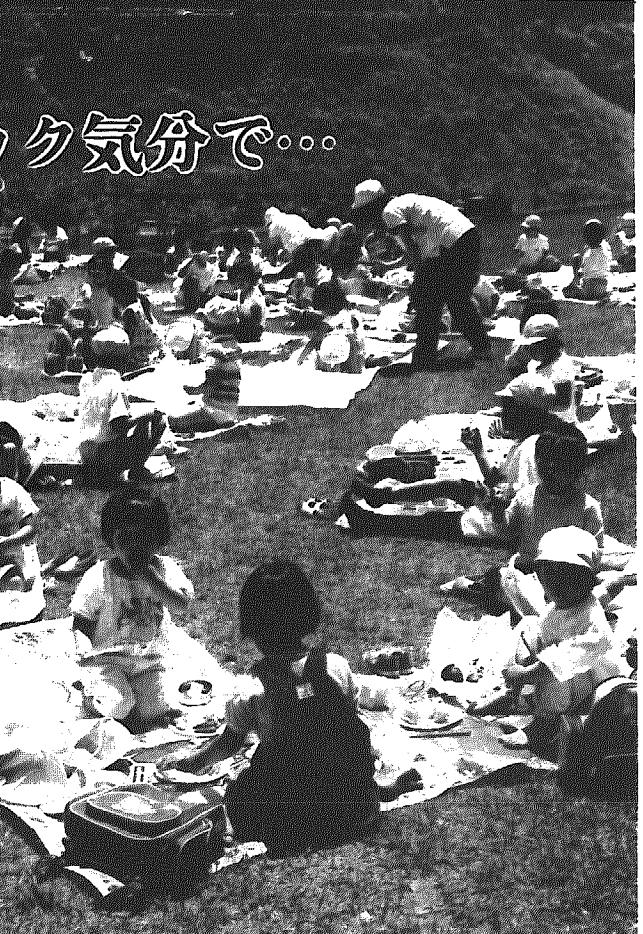
先生も来る予定です」と専門家

の間でも評判の竹内さん。一年

きょうはピクニック気分で…

夏を思わせる澄みきった青空が広がった先月11日、和納第二保育園児たちが岩室の丸小山広場で、野外の昼食を楽しみました。これは園外保育の「歩き遠足、で行ったもので、それぞれが適当な場所にグループを作り、お母さん特製のおにぎりをおいしそうに食べました。芝生の上で食べる昼食に、「ちよっぴりピクニック気分ね」と保母さんたち。芝生の緑が園児たちのカラフルな服装によく映え、「やっぱりカラー写真の方がよかったかな」とは編集子。

▼スポーツで交流——つゆの季節を前に村内3小学校の4~6年生が一堂に集まり、スポーツを通してお互いの交流を深める第20回岩室村小学校親善スポーツ大会が先月15日、和納小学校グラウンドで開かれました。参加児童は村内三つの小学校の約420人。百走、綱引きやリレーなど全部で12種目の競技に汗を流しました。



▼米をとりまく厳しい現状——先月15日、岩室村農協会議室で、再生産と所得を確保する米価を実現し、農業の確立をはかる、岩室村農業者決起集会が開かれました。減反をはじめとする厳しい農業環境と、生産者としての苦しい胸のうちが発表され、最後に生産者米価の適正要求を目指して「がんばろう」とシュプレヒコールを繰り返しました。



消防定期演習と操法大会

先月二十一日、岩室村消防定期総合演習が東体育館で行われ、二百九人の団員が日ごろの訓練の成果を披露しました。演習では通常点検、レスキュー隊点検に続き、仮想演習を実施しました。ところで、今月十九日㈰には和納小学校グラウンドで第十六回西蒲原郡小型ポンプ操作競技が予選されます。本村からは第三分団第一部(石瀬地区)チームが参加します。みなさんも応援をかけて、ぜひどうぞ。